

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～山鹿市立鹿北中学校での実践～



【山鹿市教育委員会】

【講座のテーマ】

発想の転換～逆転の発想で考えよう～



【講座の日程等】

日にち：令和3年11月16日（火）

場 所：山鹿市立鹿北中学校

日 程：5校時（13：35～14：25）

対 象：第3学年1組14名

進行役：熊本県社会教育課 米良社会教育主事

【講座の説明】

いつもと違う方向から物事を考えたり見たりすることを通して、多様性に対する開かれた考えをもち、自尊感情を高めたり、友だちとの関わりの輪を広げようとしたりするねらいで取り組んだ。

【プログラムの実際】

- (1) 「親の学び」次世代編講座の説明
- (2) アイスブレイク（頭の体操、画像を使用）
- (3) プログラムの確認
「発想の転換～逆転の発想で考えよう～」
- (4) メインプログラム
 - ① 自分の気になるところは？
 - ・個人で「気になるところ」をシートに記入。
 - ・グループになり、一人一人の「気になるところ」を逆転の発想で言葉を考え、伝え合う。
 - ② こんなとき、あなたは？
 - ・3つの事例について、「逆転の発想」をいかしてグループで話し合う。
 - ・全体で共有するために、代表による発表。
- (5) まとめをする

【生徒の感想】

○悩みや気になっていることも少し視点を変えて考えると心も軽くなるのが分かりました。生徒会の合い言葉は「Try&Error～挑戦とステキな失敗～」なので、最後のまとめにもあったように、チャレンジしないと成長も経験もできないから、何事にもチャレンジしようと思いました。進路もプラス思考で考えてみようと思いました。

○班の友達から逆転の発想で考え方を言ってもらって、自分の悪いと思うことも考え方を変えれば、良いところになり、結局私は良いところばかりの人間なんだなと思いました。

○人の言動は物事をどう考えるかで始まるということを学びました。考え方一つで人生や運命が変わるなら、今を生きることしかできないのだから、今の考え方を変えて生きた方が、これからも幸せに生きられるのかなと思いました。

【参観者（学校職員）の感想】

○進行役の先生とは初対面でしたが、導入のアイスブレイクで場が和み、この授業こそがコミュニケーションの大切さを実感できる機会になっていたと思います。

○長年同じメンバーで過ごしていますが、自分の気になるところを、逆転の発想で伝え合うことで、改めて自分や友達の良さを見つめなおすことができたようです。